

令和元年度 清瀬市立図書館協議会議事録

日 時：令和元年 7 月 9 日（火） 午後 2 時～午後 3 時 30 分

場 所：清瀬市立中央図書館 会議室

出席者：清瀬市立図書館協議会委員

小苺米清弘会長、岩崎治彦副会長、杉原知子委員、

春日サツ委員、繁田光寛委員、岩崎吉伸委員

事務局

伊藤高博図書館長、渡辺明夫副参事、中村圭子庶務・資料

担当主査、山口由希庶務・資料担当主査、湯本美奈子奉仕・

地域図書館主査

配布資料：資料 1 図書館長報告

資料 2 平成 30 年度事業報告

議事

1 開会

2 事務局職員紹介

3 議題

(1) 図書館長報告

(2) 平成 30 年度事業報告

(3) 令和元年度 図書館重点事業について

(4) 夏の図書館事業について

① 夏の子ども会

② 夏の特別展示

③ 図書館読書交流会

(5) 図書館職員一覧

(6) 視察研修について

(7) 東京都多摩地域公立図書館大会について

4 その他

(1) 東京 2020 大会に向けた都内公立図書館全体での取組について

(2) 平成 30 年度臨時会の議事録について

(3) 次回の日程について

5 閉会

1 開会

(会長) これより令和元年度の清瀬市立図書館協議会を開会する。

2 事務局職員紹介

3 議題

(1) 図書館長報告(資料1)

(館長) 初めに議会の報告をする。平成31年3月6日第1回定例市議会一般質問 斎藤実議員(風・生活者ネットワーク)より「図書館蔵書数の経年の推移と、高齢の利用者が多く感じるなかで貸出の状況について」の質問をいただいた。蔵書数は昭和49年開館当初は3万冊弱であったが現在は40万冊を超えている。また高齢の利用者については社会全体が少子高齢化であり、図書館もやはり社会状況と同じく利用者の高齢化が進んでいる。貸出点数の減少はビデオテープの貸出が起因しており、当初は近隣にビデオテープを貸出している図書館が少なく、年間20万点ほどの貸出があったが現在は年間6,000点の貸出に落ちている。また再質問で「利用が全体的に減少している中で、コミックを入れれば若い人たちの利用促進に繋がるのではないか」という質問をいただいた。しかしコミックは長期連載が多く人気はあるものの完結していない作品が多く、また内容の評価も難しいことから、コミックの扱いについて多摩六都図書館担当者連絡会で情報交換会を行う予定である。

次に、平成31年度3月12日予算特別委員会にて宮原理恵議員(風・生活者ネットワーク)より「図書や映像資料の盗難の話聞くが、現状はどうなっているのか」という質問をいただいた。主に駅前図書館の話になるが通常の本と異なり視聴覚資料はバック等に入れやすく、盗難防止の装置が館内に設置されているものの万全ではなく盗難にあう資料が皆無ではない。宮原議員からは駅前図書館のセキュリティの強化を目的に防犯カメラ設置の要望をいただいた。防犯カメラ設置については、以前は利用者の思想信条まで記録として残ってしまうため図書館での設置は不適切との議論が多数を占めていたが、近年は設置する図書館も多く市内の学校にも防犯カメラが設置されているので、駅前図書館についても防犯カメラ設置を考えたい。

人事については資料をご確認いただきたい。

野塩図書館空調設備について、平成30年6月12日に空調機の障害が発生したものの修理ができない状況のため、7月24日から8月5日まで猛暑に対する利用者及び図書館職員の安全確保のためサービスを一部縮小して開館した。空調の効く児童室だけを開館し、空調機が使えない一般開架室をクローズしたが、

その後はレンタルによるエアコンを設置して開館した。11月19日から復旧工事が行われ、12月1日より14日まで図書館内の工事実施個所を閉鎖し、サービスも夏季と同じく縮小して開館し、15日から改修がなった空調機の運転を開始した。

平成31年度重点事業について、図書館の重点事業は「子ども向け事業の充実」「図書館サービスボランティアの育成」「学校への図書の貸出」の3点あり、詳細については後で担当より説明する。

市民センターの耐震化工事について、下宿地域市民センターと野塩地域市民センターは、耐震の基準を満たしていない部分があるため、下宿地域市民センターは令和2年度、野塩地域市民センターは令和3年度に耐震化工事を実施することになった。日程等の詳細については現在決まっていないが、両市民センターに地域図書館を併設しているため、工事日程が決まればその期間は休館することになる可能性がある。

最後に公共施設再編計画について、市全体で公共施設の再編計画を策定しており、学校を核としてコミュニティーセンターや複合施設を再編成していく考えとなっている。図書館は現在6館あるが中央図書館と駅前図書館以外の図書館は市民センター等の複合施設内にあるため、再編計画に施設が含まれた場合は移設や閉館する場合もある。

以上で館長報告を終る。

(会長) 次に平成30年度清瀬市立図書館事業報告をお願いします。

(2) 平成30年度事業報告(資料2)

(副参事 説明)

(会長) 質問だが、資料館外貸出の中に「協力貸出」とあるが、どういう意味で使われているのか。

(館長) 協力貸出とは、他の自治体の図書館と資料の貸出及び借入を行うことで、平成30年度は3,447点を借入して清瀬市立図書館の利用者に提供した。

(会長) 次に報告書にあるリクエストについて、希望図書とあるが、市民からの購入希望があった場合、実際に購入した実績はどうなっているのか。

(館長) 全てを購入する訳ではなく内容や出版年等を確認して、他の自治体から借りる場合と自館で購入する場合がある。

(会長) では「予約」の意味は何なのか。

(館長) 「予約」については2通りあり、貸出中のため返却された際に確保して利用者に連絡をする場合と、市内の他の館に所蔵していて受取り館を希望の館に指定する場合がある。

(会長) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについて説明を願いたい。

(館長) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスとは、国会図書館のデジタル化資料をインターネットにより利用者が閲覧し、必要とする部分を有料で印刷し提供するサービスで、利用件数を報告書に記載している。

(会長) 次に平和記念事業についてだが、清瀬市は非核宣言都市であるので、図書館として核の問題について積極的に取り上げてはいかがか。毎年子ども達がピースエンジェلزとして広島に派遣され活躍をしているので、この子供に図書館読書交流会に参加してもらうのも良いかと思う。

また、私は残念ながらDVD上映会を一度も観ていないが、子ども向けと高齢者向けに分けて上映会を行ったことは図書館の工夫が見られる。高齢者向けに上映した「雨に唄えば」はあまりにも有名なミュージカルだが、参加者が8名と少なかったのが残念だ。「黄色いリボン」も有名な映画で参加者は15名とのことだったが、素晴らしい企画であると思うので続けていただきたい。

(館長) 補足だがDVD上映会は、「子供向け」と「成人向け」として行っている。決して高齢者向けということではなく、若い方にも名作を観ていただきたいと思っている。

(会長) 次に社会体験研修受け入れとあるが、図書館にとって重要な事業だと思うので、積極的に受け入れを続けていただきたい。この研修は毎年あるのか。

(副会長) 教職員の研修だが、新規採用研修や10年研修がある。東京都は一律に研修が決まっているので、図書館を選んだ先生がいるかどうかで毎年参加状況が違うと思う。

(会長) 次に令和元年度 図書館重点事業をお願いします。

(3) 令和元年度 図書館重点事業について (資料 3)

(主査) 図書館の重点事業は3点、1点目の「子ども向け事業の充実」は現在、図書館単独で年18回実施している「子ども会」について、多摩六都科学館が公立図書館に講師を派遣する事業を行っているので今後は連携を考えている。今年初めての試みとして、1枚の紙にそれぞれの野菜の種を貼ってワークシートとしてまとめ、清瀬市になじみの深い野菜の種について調べるワークショップを実施する。

次に「図書館サービスボランティア」の育成について、図書館では市民との協働事業として障がい者に対するサービスを行う図書館音訳ボランティアと、ブックスタート事業において絵本の読み聞かせや手遊びなどを行う図書館読み聞かせボランティアに活動をお願いしている。

図書館音訳ボランティアについては2年に1度「中級音訳講習会」を実施している。今年度は10月以降に対面朗読の講習会を行い、ボランティアのスキルアップに努める。図書館読み聞かせボランティアも毎月、定期的に勉強会を行っているが、昨年度は資格を持っているボランティアの方が講師になり、絵本の読み聞かせの講習会を一般の方も交えて行った。今年度も9月以降に一般の市民に向け、赤ちゃんへの読み聞かせの講習会を予定している。

次に学校への図書の貸出、学習貸出について説明する。昨年まで先生方に学習に必要な資料を図書館まで受け取りに来ていただいていたが、今年度から図書館の配本車で搬出入するための予算措置がされた。授業の補助教材としての学習貸出用図書を効率的に学校へ搬出入できるようになり、申込方法も簡素化したので多くの学校にご利用いただきたい。

(副会長) 学校への学習貸出の搬入費が予算化され、大変嬉しく思う。既に各学校に申込方法を連絡されているようだが、再度校長会等で周知する。

(会長) ボランティアの充実育成について、現在の図書館ボランティアは対象が限定されているが、郷土博物館には「友の会」があり、郷土博物館事業に積極的に協力している。図書館にも同じような形のボランティア等が必要なのではないか。一般的な図書館事業に協力をするボランティアを、組織として考えているか。

(館長) 一般の方が図書館に協力していただく形ではなく、中学生や高校生の図書館への関わりを考えている。中学生や高校生によるサポートやボランティアのような形の輪が広げられないかと考えている。

(4) 夏の図書館事業について

(館長) 夏の子ども会について毎年様々な企画を行っているが、今回中央図書館では多摩六都科学館との連携事業を行う。それ以外の図書館は例年通り各図書館の職員が行うので、委員の皆様もお時間が合うようなら是非参加いただきたい。

次に夏の特別展示について、夏に関しては子ども達に読んでいただきたいテーマの児童書を新たに収集し7月16日から8月31日まで、駅前図書館を除いた5館で展示し利用の促進を図る。

次に図書館読書交流会のタイトルは「中学生が語る本ってこんなに面白い」として、昨年の「清瀬教育の日 ビブリオバトル」に参加された中学生とその同級生2名の併せて3名の中学生に、本や読書について話していただく。気楽なフリートークを中心に行う予定で、職場体験に来ている子供たちも含めて広く声をかけて行く。

(会長) 読書交流会を大人だけでなく子供たちに向けて行うことは大変良いことなので、是非とも続けていただきたい。

(5) 図書館職員一覧

(館長) 前回の会議において、会長より図書館の組織図はないかというご意見をいただいたので今回お渡しする。臨時職員を除いた全職員名が記載されており、担当は庶務・資料担当と奉仕・地域図書館担当の二つあり、常勤の職員13名 嘱託職員28名 再任用3名 臨時職員9名 合計53名の組織になっている。

(6) 視察研修について

(主査) 毎年図書館協議会で視察研修を行っており、去年は11月8日に小平市のなかまちテラス(仲町図書館)を視察した。今年も希望があれば視察箇所を決めたいと思うが、今回は平成23年にオープンした武蔵野市にある図書館併設の武蔵野プレイスは如何か。

(会長) そちらでお願いしたい。

(主査) では武蔵野プレイスに視察の申し込みをする。日程は10月後半から11月中を予定し、決定したら委員の皆様にご連絡をさせていただく。

(7) 東京都多摩地域公立図書館大会について

(館長) 今年度の図書館大会は大規模大会となる。日程は1月28日から1月30日の3日間で基調講演と5つの分科会による事例研究を発表する。

4 その他

(1) 東京2020大会に向けた都内公立図書館全体での取組について

(主査) 東京都公立図書館長連絡会という23区と多摩地域の館長の連絡会があるのだが「東京2020大会」に向けて統一のロゴを作成しオリンピック・パラリンピックを盛り上げようという取組を行っている。オリンピック・パラリンピックを念頭に置いた展示コーナーの設置を、東京都の全ての図書館で2018年から2020年まで継続していく。

(会長) 予算はあるのか。

(主査) 予算措置は全くされていないので、既存の資料を工夫して展示をしている。

(2) 平成30年度臨時会議事録について

(主査) 前回の議事録作成が大変遅くなり申し訳なかった。内容を確認の上変更、修正等が必要なら担当まで戻していただきたい。

(3) 次回の日程について

(館長) 定例会議は年1回になるが、出来れば臨時会を1回予定していただけないか。

(会長) ぜひ臨時会の開催をお願いします。他に質問等がないようなので、最後に副会長から一言をお願いします。

(副会長) 本日はご苦勞様。学校としても、図書館を活用した学習活動の充実促進が謳われている。本校も夏休みまでに図書室のトータルデザインを変えて、子ども目線で子どもが来た時にわくわく本が読みたくなるようなポップや掲示の充実を計画しており、9月には完成した状態にしたい。

今は時代の変わり目で、教科書も10年後には殆どの教科がデジタル化されていると思う。現状のペーパーの教科書でもQRコードが記載され情報が見えるようになっており、書籍にしてもデジタル化が進んでペーパー物が売れない時

代になっている。こうした中で、図書が果たす役割とは何なのか。

今はスマホ 1 台で情報を入手するだけなら、どんな情報でも好きなだけ入手することが出来るし、PDF でダウンロードも簡単にできる。個人の生活が急激に変化しているなかで、図書館の在り方を考えていかなければいけない時代なのだと考えている。

(会長) 図書館への重要な課題提案をしていただいた。ではこれで閉会する。